



# ぴこちゃんだより NO.2

岐聖大心そく幼稚園 発行

秋の深まりと共に身近な木々の葉が赤や黄色に変わり、やがて風に吹かれて落ち葉になっていきます。色とりどりの木の葉のように子ども達も十人十色、個性豊かな美しい色をもっています。

ちょっと体が小さいのでは…言葉が何だか遅いみたい、落ち着きがないのでは…、おむつがはずせない等々、お母さんの心配をよそにお子さんは元気いっぱい過ごしてみえるのではないのでしょうか。つついと同じ年齢のお子さんと比べてしまいがちなことがあるかもしれませんね。子育ては悩みがあって当然のこと。それはお母さんがお子さんのことを誰よりも大切に思ってみえるからです。まずはお母さんがゆったりとした気持ちでお子さんと接してあげてください。



## “みんなちがって みんないい”

金子みすずさんの詩の中に「みんなちがってみんないい」というフレーズがあります。一人ひとりにはそれぞれのよさがあり、お互いみんな大切だね…という思いが込められているようです。子どもを取り巻く私たち大人もそれぞれの役割を十分発揮しながら、一人ひとりの成長を温かく見守り、大切に育てていきたいと思っています。

### 【今月の歌】 大きな栗の木の下で

おおきなくりの きのしたで  
あなたとわたし なかよくあそびましょう  
おおきなくりの きのしたで

### むっくり くまさん

むっくり くまさん むっくり くまさん  
あなのなか  
ねむっているよ グーグー  
ねごとをいって むにゃ むにゃ  
めをさましたら めをさましたら  
たべられちゃうよ



### 【今月の絵本紹介】 おいもさんがね・・・

作・絵：とよた かずひこ 出版社：童心社  
おいもさんたちが地面から顔を出しました。つるを力いっぱいひっぱたら…「すっぱーん！」ごろごろ坂をころがって、水に落ちてしまいました。「ひゃ～つめたい」そこへ“ぽっぽっぽっ”とやってきたのは……？  
身近な食べものが動きだす、赤ちゃんから楽しめる大人気シリーズ「おいしいともだち」の1冊です。



かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

#### Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい？

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

#### Q 受けるとインフルエンザにかからないの？

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起こしたりするリスクを減らすことができます。

#### Q 予防接種の効果が続く期間は？

A 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

#### Q 接種の方法は？

A 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

#### Q いつごろ受けたほうがよいの？

A 最も患者数が増えるのは1月～2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後に接種しましょう。

